

～ 令和2年度の主なトピックス ～

1 外国人を令和2年度交通局モニターに委嘱

＜概要＞

様々な意見等を継続的に把握することで、輸送サービスの向上を図ることを目的として設置している交通局モニター制度における新たな取り組みとして、外国人目線での意見やニーズを把握し、サービスの向上を図るため、令和2年度は、15名のモニターのうち3名を、本市に居住する外国人とした。

＜任期＞

令和2年8月1日から令和3年7月31日までの1年間

2 ICTを活用した新たなサービスの開始

市電・市バスの利便性向上や観光客等の利用促進を図るため、下記のとおり、8月1日からICTを活用した新たなサービスを開始した。

(1) スマホ一日乗車券

＜概要＞

現行の紙製・スクラッチ方式の一日乗車券に加え、新たにスマートフォンで購入して使用できる「スマホ一日乗車券」を導入した。

＜利用方法＞

専用アプリ（※）をダウンロードしたスマートフォン等で一日乗車券を購入し、降車時に乗車券画面を提示することで利用可能

※ジョルダン㈱が運営する「乗換案内」アプリ

＜対象車両＞

市電（観光レトロ電車含む）、市バス、カゴシマシティビュー

＜料金＞

大人600円、小児300円（紙製・スクラッチ方式と同額）

＜販売実績＞

大人286枚、小児15枚（9月末日現在）

スマホ一日乗車券画面



(2) 観光おもてなしラピカ

<概要>

観光客や修学旅行生向けに、デポジットなしの「観光おもてなしラピカ」を販売開始した。

<価格>

1,000円（1,000円分乗車可能）

観光おもてなしラピカ券面

<発売枚数>

3,000枚（限定）

<発売場所>

鹿児島中央駅総合観光案内所・市内ホテル等

<販売実績>

418枚（9月末日現在）



(3) 交通局公式ツイッター

<概要>

災害や事故発生時の運行情報のほか、局のイベントや取組についてタイムリーな情報発信を行うことで、局の情報発信能力を高めるとともに、局への関心や共感につなげる目的として、ツイッターを開設した。

<発信情報>

- ・ 災害、事故発生等による運休や臨時的なダイヤの変更
- ・ ダイヤ改正、路線見直し
- ・ 市民のひろば、フェイスブック掲載記事
- ・ イベント等の情報 など



3 バス経路検索データ整備事業

<概要>

インターネット上の地図等で、市バスの経路や時刻表、運賃等の検索ができるよう、国が定めた「標準的なバス情報フォーマット」(GTFS-JP)に準じた市営バス情報を作成し、9月から、これまでも時刻情報を提供していた経路検索事業者6社に加え、Googleへの情報提供を開始した。

なお、今回作成したデータは、市のホームページ上でオープンデータとして公開している。

<情報提供先>

No.	運営事業者	乗換案内サービス名
1	(株)ナビタイムジャパン	NAVITIME
2	(株) 駅探	駅探
3	(株) ヴァル研究所	駅すばあと
		Yahoo!路線情報
4	(株) 電広	乗ってみ停
5	西鉄情報システム(株)	九州のバス時刻表
6	ジョルダン(株)	乗換案内
7	Google	Google マップ

4 唐湊停留場の供用開始

<概要>

障害者の利便性や待合施設環境の向上のため停留場の幅員を広げ、車イスの利用を可能としたほか、上屋やベンチを新たに設置し、令和2年9月23日から供用を開始した。

